

金具付片引戸1000取扱い説明書



商品取扱いマニュアル NOB-06

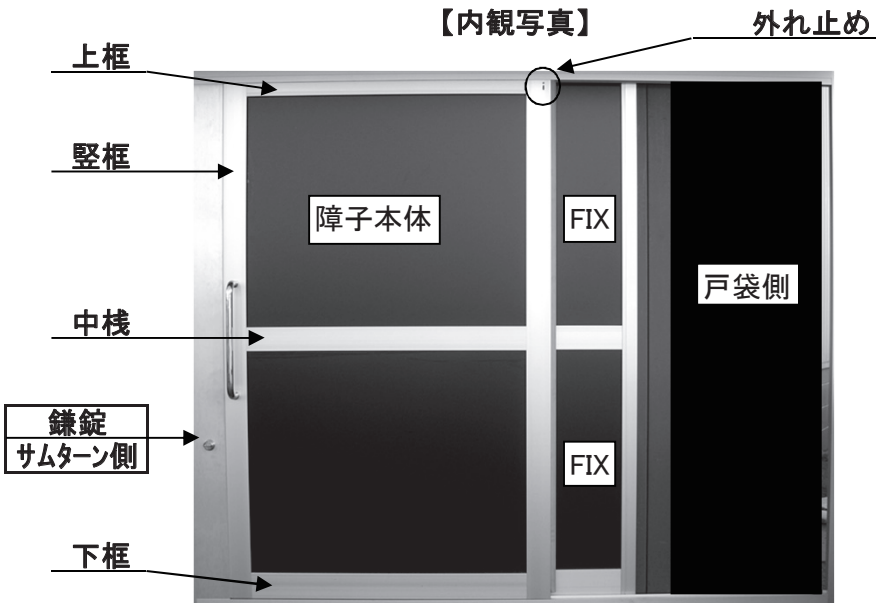
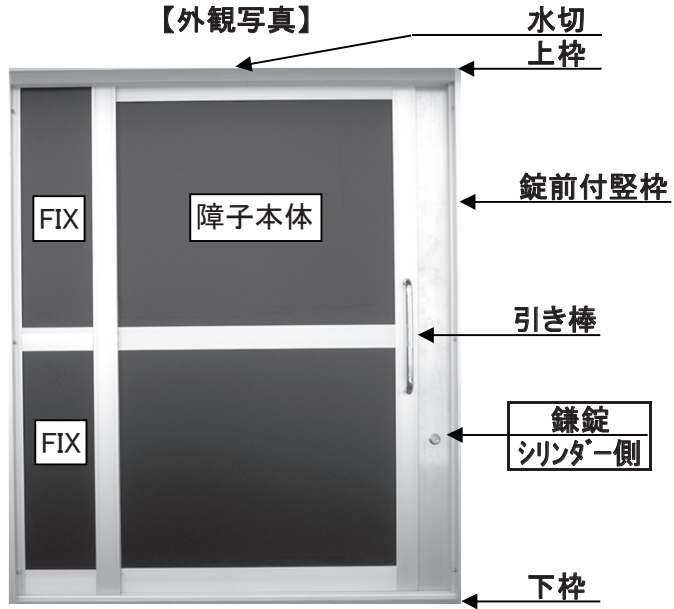
目 次

各部の名称	P.1
ご使用上の注意とお願い	P.3
操作方法(鍵)	P.4
建て込み方法	P.5
障子の吊り込み方法	P.8
調整方法	P.9
Q&A集	P.12

※鍵(別梱包)

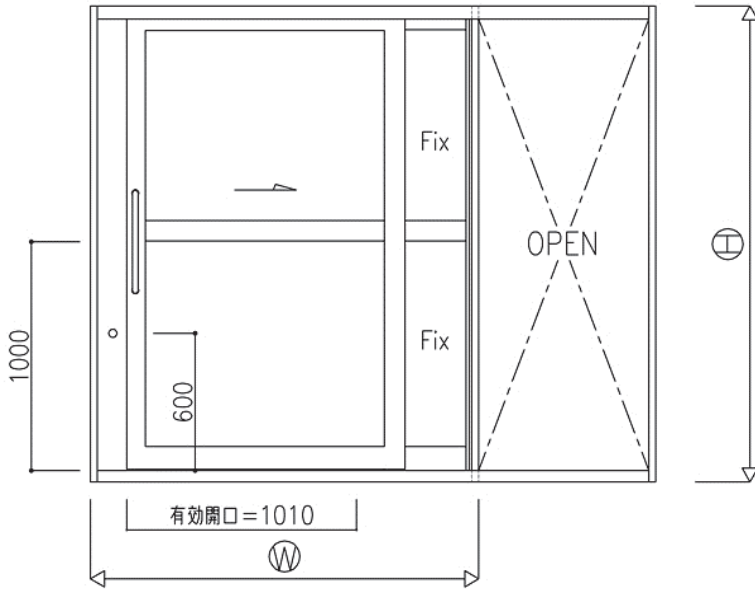
引き棒の下部につけています	3本
---------------	----

各部の名称

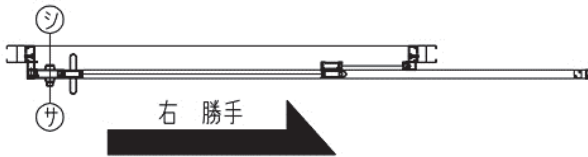


※写真は、左勝手仕様

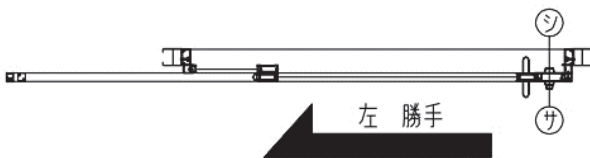
内観図



外部



外部



ご使用上の注意とお願い

ご使用いただく時のチェックポイント

- 障子は確実に納まっていますか。また、枠との隙間はありませんか。
- 施錠は確実にできていますか。
- 開閉操作の時、異音があればレールからの脱輪等が考えられます
建付・戸車調整を行って下さい。
- 設置場所の確認(設置状況により、水【雨水】が入る可能性があります。)
引戸上部に庇・下部にグレーチングの設置を必要とする場合があります。

ケガの防止

- 開閉時、手や指を挟まない様注意して下さい。
- ガラス障子の開閉は静かに行ってください。
乱暴に扱うとガラス障子が破損したり、脱落する恐れがあります。
- 障子の開閉は、必ず引き棒を持って操作して下さい。

破損・故障の防止

- 下枠レールは砂やホコリが溜まりやすいところです。砂やホコリは引戸
(戸車)の破損や開閉の妨げになりますので常に掃除を行い下枠レール部
に異物がない事を確認して下さい。
- 錠の施・解錠は、最後まで確実に操作して下さい。
半掛り状態でガラス障子を開閉すると錠が破損する恐れがあります。

メンテナンス

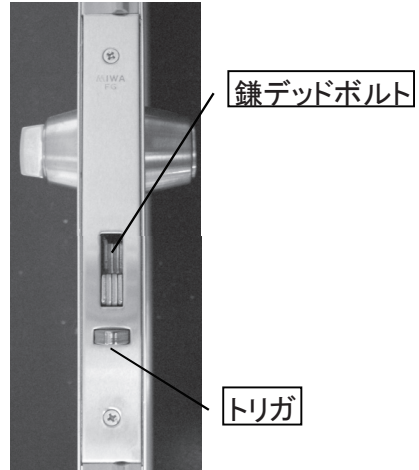
- シリンダーの鍵穴への抜き差し回転の操作がスムーズに動かなくなったら
黒鉛粉(鉛筆の芯を削った粉で可)を鍵にまぶして、何度か繰り返し鍵穴に
差し込んで下さい。)
- 鍵穴に油や異物を入れないで下さい。鍵の操作が出来なくなります。
- 掃除の際、酸やアルカリや塩素等の化学薬品は使用しないで下さい。

操作方法

引戸鎌錠 操作方法



写真①



写真②



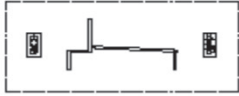
写真③



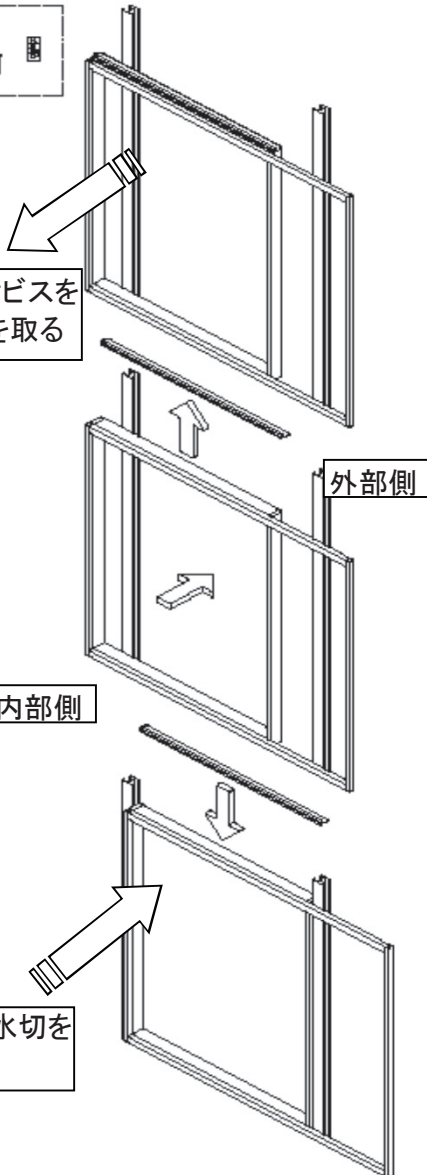
写真④

写真①の引き棒下部に引戸鎌錠が取り付けられています。
写真②錠の構造は、鎌デッドボルト・トリガが内蔵されています。
写真③トリガを框側の受け側に接地した時点でサムターン(シリンダー側も同じ)の施錠が出来ます。
写真④鎌デッドボルトが出た状態

建て込み方法



水切の両端の取付ビスを
はずし、上枠水切を取る



取付ビスで、上枠水切を
取付ける

取付方法

取付開口の
確認

上枠水切を
はずす

建物室内側
よりサッシを
取付

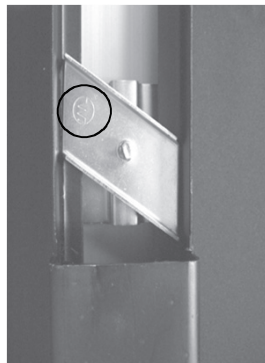
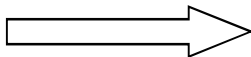
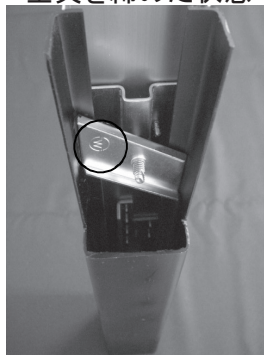
サッシの取付
状態の確認
(縦・横・対角)

金具を締め
付ける

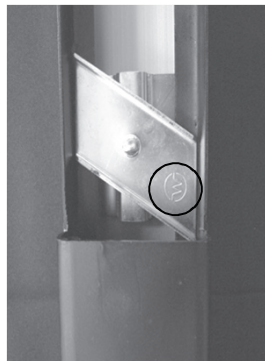
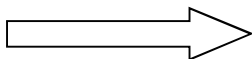
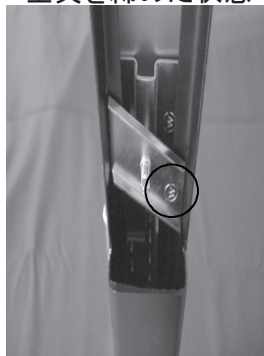
上枠水切を
取付ける

建て込み方法

外観左枠
金具を締めた状態



外観右枠
金具を締めた状態



※後は、左右6箇所 bolts を六角レンチで固定し写真の位置でマークが止まっている事を確認し作業終了。



※最終、右写真の上枠アタッチメントを装着し、取付完了

建て込み方法

金具の締め付け方法

出荷時
外観左側

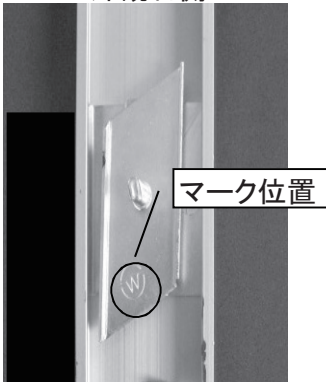


ビスは、締った状態

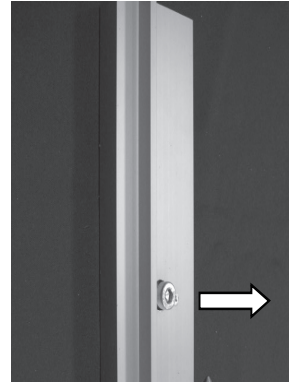


ビスを緩め引き出す

出荷時
外観右側



ビスは、締った状態



ビスを緩め引き出す

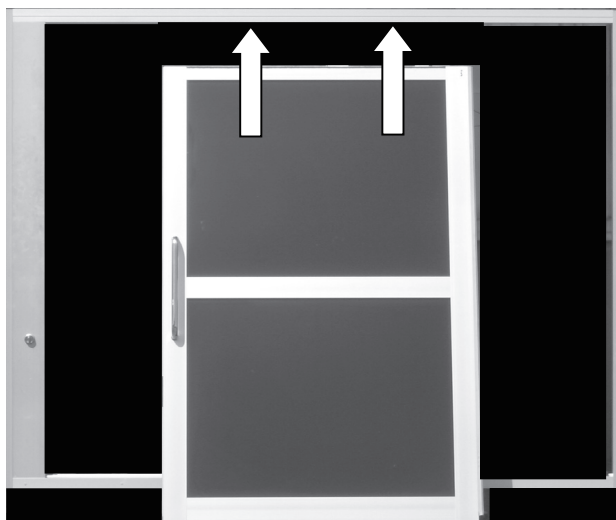
※金具の取付前準備(取付前セット)

- ①六角レンチ【出荷時同梱包】で金具を緩め、写真の位置にマークをセットして下さい。

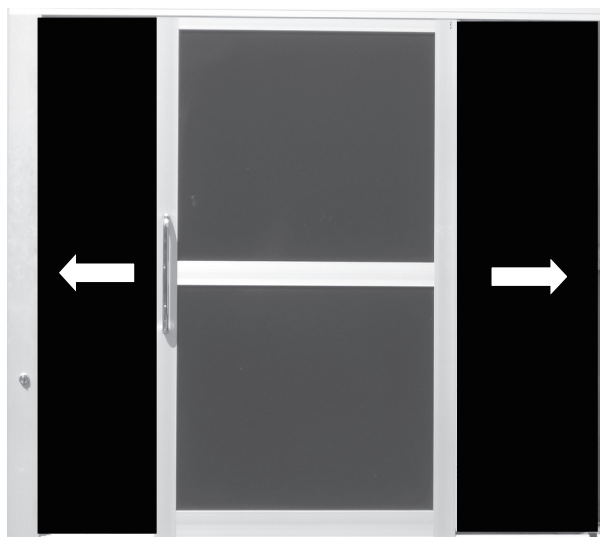
注意！！

※金具の形状がいたずら防止用の特殊ボルトとなっており、それに使用するレンチも特殊仕様となっておりますので、解体時まで大切に保管して下さい。

障子の吊り込み方法



- ① 枠の建て込み及び戸袋側の補強を完了し障子をレール中央より矢印方向に取付します。



- ② 取付後、障子の可動を確認し調整金物（戸車・外れ止め）で微調整して下さい。

調整方法

外れ止め 操作方法



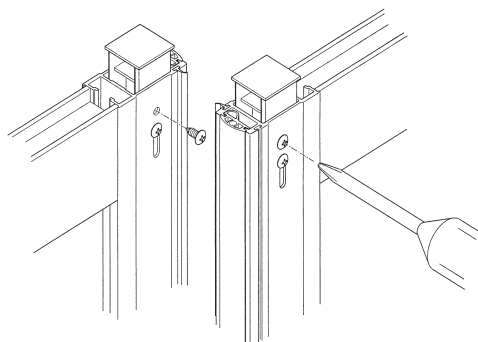
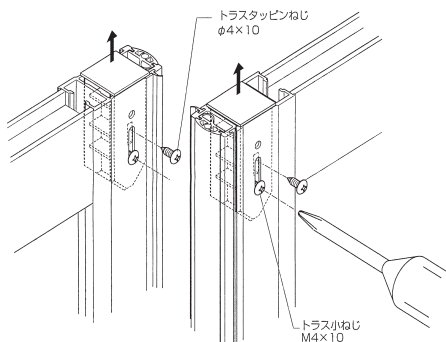
枠の建込み終了後、障子本体を吊り込み下記の要領で引戸外れ止めを操作し、障子本体を調整して下さい。

調整方法

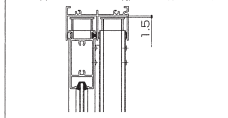
1 引戸外れ止めの調整

①障子を建て込んだ後、引戸外れ止めのトラスタッピンねじ(上のねじ)を外し、トラス小ねじ(下のねじ)をゆるめて外れ止めを上げます。

②調整後、トラスタッピンねじを上への穴にとめて引戸外れ止めを固定します。

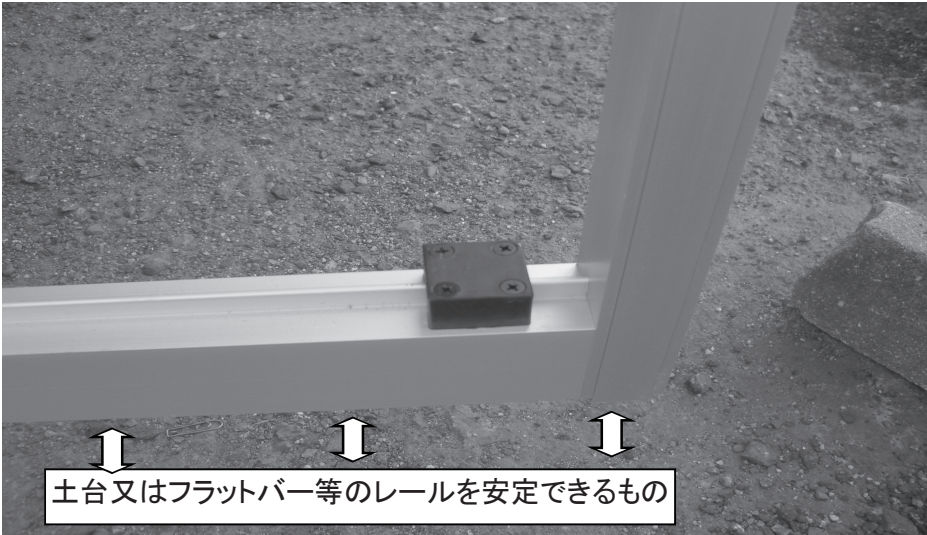


■調整基準位置
上枠より1.5mm離してください。

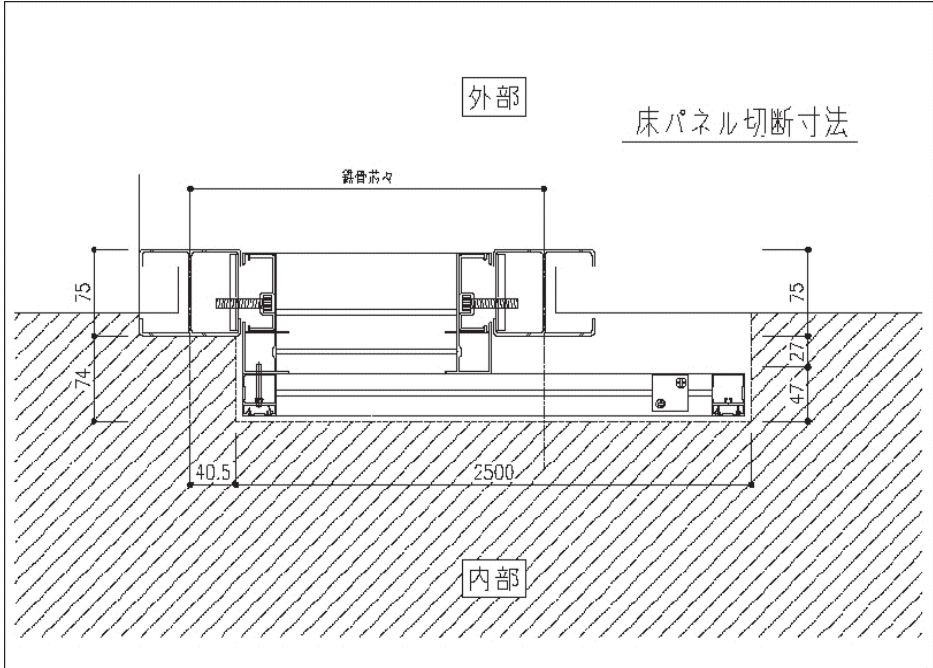


■お願い
防犯のため障子を建て込んだ後、必ず引戸外れ止めを上げてください。

調整方法



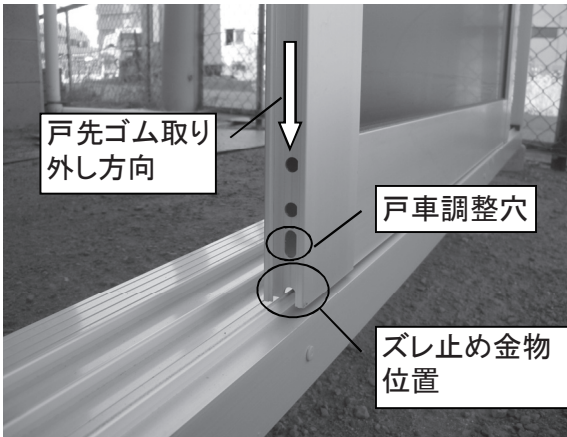
※戸袋側は、FLラインとの調整に応じてレール下に土台又はフラットバー等のかましものでレールを安定させて下さい。



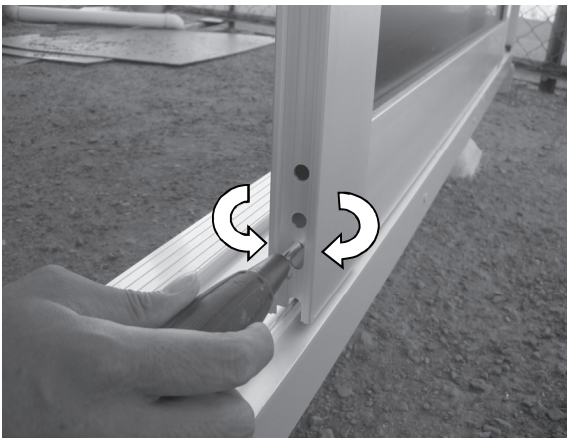
※内部床パネルは、上記寸法で内部(室内側)を切り込んで下さい。

調整方法

戸車による調整



- ①障子をレールから外し、ズレ止め金物を取り、戸先ゴムを外します。
- ②写真の状態になりましたら、戸車調整穴にドライバーを差込、調整して下さい。



- ③障子を上げる場合：右回し
障子を下げる場合：左回し

- ④本ページ写真に付きましては、戸先側の調整方法となっておりますが、同様に戸尻側も同時に調整し障子のガタツキや可動を確認しながら、調整して下さい。

Q&A集

現象	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない	戸車がレールに乗っていない 引戸が正常に組込まれていない	⇒ 引戸を一度外し、 組込みし直して 下さい
	下枠にゴミなどが付着している	⇒ 清掃して下さい
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形 などが生じている 振れ止めにキズ・磨耗・軸の 変形などが生じている 上枠・下枠レールにキズ・変形 などが生じている 障子本体のヒネリがある	⇒ 施工店・販売店 又はハウスメーカー様 に修理を依頼して 下さい
全閉時、枠と引戸 の間に隙間がある	⇒ 戸車の高さが適切でない	⇒ 調整方法の 戸車調整を見て 下さい



サッシで刷新 サッシは信田屋

株式会社 信田屋

美原営業所/〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上410 TEL 072-361-5460

FAX 072-362-0533

<http://www.nobutaya.co.jp>